

中川村議会だより第 128 号(2022 年 3 月議会)アンケート結果

1. 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 予算特別委員会委員長報告の記事が項目ごとにまとめられており、読み易かった。
- 再生可能エネルギーについて、様々な視点からの意見交換がなされていることが分かった。特に桂川議員の「適正な回収や処分の資金確保・急傾斜地への設置禁止」、柳生議員の「自然破壊問題」についての記事を読み、太陽光発電について改めて考えさせられた。太陽光発電施設の乱立が問題となっている近隣市町村もあると聞く。村としての考え方は早めに示していただきたいと感じた。
- 御柱の表紙いいですね！切り出されていくときから、立てられた時まで映像を見ているようです。7年に一度、しかも今年はコロナで応援にも見学にも行けず、寂しかったので様子がわかりよかったです。どこかで（文化祭など）で大きい写真を見たいです。
- 紙面に1枚か2枚は写真がほしいです。字がたくさんより、イメージがわきます。
- P8 P11 の太陽光発電について賛成です。中川村ではありませんが、親しまれている山のほとんどが伐採され太陽光発電のパネルが設置されているのを見ました。よって登山道も景観も変わっていました。あんな急斜面の木を切ってしまうと沢に流れ込む雨水は濁流となることでしょうか。麓の集落は大丈夫かと心配になりました。自然を大きく破壊してまでも、再生可能エネルギーといえるかに同感です。我が家の山もどうやって守っていくのかわかりません。でも、現在の電力不足の名のもとに業者に託してあのパネルをずらーと並べる気はありません。何十年後には廃棄が必要になった時、私たちは生きていず、子どもらに押し付けることとなります。ぜひ条例が時流に合っているかを絶えず見直し村民にも周知徹底をお願いします。緑に囲まれ自然豊かな村がパネルに覆われるなんて想像しただけでぞっとします。
- 編集後記に コロナで中止や大幅縮小をした伝統行事が存続の危機に、の記事が載っていました。これは、文化でも同じです。公民館文化団体連絡協議会の役員になりましたがサークルや団体が昨年度今年度で5つも減りました。高齢化、人口減少、若者不足、仕事の忙しさ コロナでおっくうなど村だけでなく日本のどこでもの現象ですが17団体のうちこれだけ減ってしまうと、文化の危機です。
- 今回強く感じたのは、予算特別委員会委員長報告の記載が、横書きにも拘らず右側から甥ページになっていて、解り辛かった。今まで、一般質問が縦書きで、それに倣って縦書きが多かったと思いますが、予算内容も最近は横秋になってきているので、この際一般質問も横書きに変えて議会だよりそのものも、左綴じで追番に変えてはどうだろうか。
- 表紙に各地区での式年御柱大祭の様子を掲載していただき大変嬉しかった。今後その時季に相応しい行事等で表紙を飾ってもらいたい。

- 表紙は御柱の様子をたくさんの写真でみることができ良いと思う。
- 予算のところについては、見開きでないほうが見やすいと思う。(グラフ)
- 報告ページはもう少しレイアウトをシンプルにしてもらえると読みやすいと思う。
- 表紙の写真が今年の話題でとても良かった。地域の行事の様子を見ることができた。
- 令和4年度の予算内容が分かりやすく記載されていると思います。
- 一般質問については、それぞれの方が力を入れている分野かなと思う内容が多いかと思いました。
- 本来なら行われていたはずの御柱祭を表紙にしてもらった事で、情報が分かりやすく良いと思いました。今回は残念でしたが次回は行われてほしいと思います。
- 令和4年度当初予算について新規事業と継続事業にまとめられておりわかりやすかったと思います。箇条書きで短い文書ながら理解できました。
- 予算審査については、質問・回答が丁寧に記されており、しっかり審査されていることは伝わってきましたが、文書量が多く編集のむずかしさを感じました。
- 写真がたくさんあって面白いが、表紙はもっとシンプルなデザインが良いかと思う。
- 予算特別委員会委員長報告ページは中身が詰まりすぎたのか、レイアウトが見辛い印象です。
- 一般質問ページは読みやすいと思う。
- 写真のレイアウトをもう少し良く出来たら文章が多くても読みやすいのかなと思う。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

- 若い方が議員になることを進めるのであれば、毎回少しづつでも議員活動がわかるようなページがあってもいいのではと思います。又女性議員のなりても考えていくべきではないでしょうか。

3. 議会・村に対する要望、意見等

- 令和4年度事業として、福祉タクシー券の交付枚数を倍増するとあった。ホームページで確認したところ、初乗り運賃相当分の券が申請者に月2枚ずつ交付されるとのこと。しかし村の住人はそれぞれの自宅から初乗り料金で、果たしてどこまで行かれるのかと疑問を持った。地域の高齢化、高齢者ドライバーの事故増加、買い物難民問題など、全国でクローズアップされている問題は、まさに村の問題であると感じる。福祉輸送サービス等とも併せ、利用者にとって使い勝手の良い、経済的負担が少なく実態に合った施策の検討をお願いしたい。
- 議会だよりモニターアンケート依頼のメールについて：モニターアンケートの依頼メールは、毎回事務局から受けている。これまで送付先の確認まではしてこな

かったが、今回確認したところメールの送り先の氏名、メールアドレスが全員分確認できる状態となっていた。(昨年からのメール全てが同じ状態であった。)個人のメールアドレスが許可なく公開されている現状であり、村の個人情報管理の安全性に疑問を感じる。複数名にメールを送る場合には、TO や CC ではなく他の送り先が見られない BC 扱いで送付すべきである。議会だより以外のメールについても早急に確認し、対策を講じていただきたい。

- 文化祭の展示やステージもどうなるかわかりません。コロナや戦争、こんな時だからこそ、人間としての文化や芸術が必要です。気になったことですが、「学びの里」の冊子が来年度から廃止されるとか。この冊子は全戸配布であり、私や知人もこの冊子でサークルを探し担当者に電話しました。予算を削った方は知らないかもしれませんが、庶民は結構、この冊子を見ています。ぜひ復活を。こんな小さな冊子でも中川村の文化を支えています。公民館でも窓口に置くパンフレットは作成してくれるそうですが、公民館へ足を運んだ人しか手に取れません。全戸配布の意味は大きいです。
- 先日ご近所のお祖母ちゃんと立ち話をしました。「西丸尾の桜が、お二人とも亡くなったら手入れが行き届かず、周りの木が伸びて邪魔してきれいでなくなった。役場で周りの木の剪定や草刈りをやってくれないか。茅葺のお宅は今年でも解体するとか。美しい村と宣伝しても、どんどんなくなってしまう。村が援助しなければ無理。何をしているんだねえ」とのことでした。後で、関係の人にお聞きしたら、役場や議員さんもお苦勞はなさっているとお話でしたが、一般の人には見えてきません。個人の所有であり難しいことと思いますが、観光パンフレットにも載っている場所でもあり、なんとか存続をお願いします。
- 新型コロナウイルスで行われなくなっている祭りがありますが、私としては新型コロナウイルスと付き合っ、対策して行う方向でやってもらいたいのが本心です。注意するのは個人であって団体ではないので個人の責任だと思います。このままいくと今までやってきた祭りがなくなってしまうのではないかとすると悲しくなります。活気のある村であってほしいと思います。
- 今年は7年に一度のお練り祭りや御柱祭が各地で行われました。コロナで厳しい選択をしなければいけない現実もありましたが、改めて地域への愛着を感じる時でもありました。子供達が一度は進学や就職で離れても再び中川村に住みたいと思ってもらうには、中川村での楽しかった、おもしろかった体験が村への愛着につながることもあるのではないかと思います。村外からもやってみたい、住みたい環境としても、文化、祭り、教育にも注目していってもらえたらと思います。
- 各地区の入会金や地区費の格差をできるだけ少なくするように努力していただきたい。人口減少を心配するならこれが第一の課題だと思う

4. その他

- 議員さんの皆さん、村のこまごまとしたことまでよく見て気を遣って頂いている様子が伝わります。ありがとうございます。
- 地域や学校の行事などコロナ感染予防を理由に中断・中止されているものも多くあり致し方ないと思います。又見直し改善のきっかけになることも必要だと思いますが、行事の目的を考えたとき工夫すればできることもあるのではないかと、これから **with** コロナで知恵を出して行くことも重要と考えます。おとな子でも人生のその時代、その時に経験することが可能となる日々がくることを願うばかりです。